

日本鐵鋼協會記事

◎第七回通常總會記事

大正十一年三月二十五日(土曜日)午後二時五十分より本會事務所に於て第七回通常總會を開く、當日出席者は正會員四十五名准會員六名にして其氏名左の如し。

出席者(出席順)

- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 香村 小録 | 鹽田 泰介 | 河村 驍 | 種子田右八郎 |
| 寺野 精一 | 大塚 榮吉 | 加茂 正雄 | 水谷 叔彦 |
| 吉川 雄輔 | 島岡亮太郎 | 島 安次郎 | 日向 庄作 |
| 堀 悌三郎 | 高洲 清二 | 服部 漸 | 村上喜代次 |
| 渡邊 三郎 | 伊藤幸次郎 | 白石元次郎 | 廣田理太郎 |
| 松下 長久 | 杉村伊兵衛 | 室井嘉治馬 | 陸路 録 |
| 吉田 永助 | 齋藤 正平 | 寒川 恒貞 | 城谷 陸造 |
| 野長瀬忠男 | 濱田 彪 | 行方畝三郎 | 大矢 喜兵 |
| 池永雅之助 | 伏見 政治 | 毛利要次郎 | 土田庸次郎 |
| 松山 寛慈 | 後藤 尙 | 野村 宅藏 | 永倉 直七 |
| 福元 清藏 | 遠藏 隆 | 降旗 音吉 | 宮田榮太郎 |
| 塚本卯三郎 | | | |

外に准會員六名(氏名省略)

○會長香村小録君開會の辭を述べ(演説速記は別項に掲載せり)次に同氏議長席に着き豫て通告せる議案に就き報告並に決議をなすこと左の如し。

大正十一年度會務報告

(自大正十一年三月一日至大正十一年二月廿八日)

日本鐵鋼協會記事

一、集會

總會

評議員會

理事會

編輯委員會

管類規格統一調查會

講演會

二、會員異動

一、入會者

贊助會員

正會員

准會員

合計

一、正會員ヨリ贊助會員ニ資格變更者

一、退會者

正會員

准會員

合計

一、死亡者

正會員

准會員

合計

合計十名ヲ喪ヒタルハ痛惜ニ堪ヘサル所ナリ

三、會員總數(大正十一年三月五日調)

贊助會員

九名

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

一回

正會員 八百六十六名
准會員 五百四十五名
合計 一千四百二十名

四、役員異動

- 一、理事倭國一君ハ東京帝國大學ヨリ歐米出張ヲ命セラレ大正十年六月二十四日出發セラレタリ
- 一、理事編輯擔任倭國一君洋行ニ付大正十年五月十日評議員會ニ於テ河村曉君ヲ常務委員ニ囑托セリ
- 一、編輯委員堀尚靖君ハ轉任尾藤加勢土君ハ洋行ノ爲メ辭任ニ付役員會ニ於テ川上義弘君ニ編輯委員ヲ囑托セリ

五、會誌ノ發行

本會々誌「鐵と鋼」第七年第三號ヨリ第八年第二號迄ヲ毎月一回宛發行セリ

六、會誌ノ體裁變更

- 一、大正十年四月二十七日役員會ニ於テ同年七月號ヨリ會誌ノ體裁ヲ變更シ本文及拔萃ヲ二段組ニスルコトニ決議實行セリ右變更ニ關シテ會誌全體ノ字數ハ從來ト變ルコトナシ

七、調査事項

- 一、管類規格統一調査答申書ノ件
農商務省工務局ヨリ照會ノ管類規格統一調査ニ就テハ大正十年二月十五日並ニ同年五月十日評議員會ヲ同年

三月二十三日並ニ同年四月二十七日管類規格統一調査委員會ヲ開催シテ審議ノ上「管類規格統一調査答申書」ヲ作製シ同年五月二十日當局ヘ提出セリ

一、關稅改正ニ關スル意見書ノ件

鑛及金屬ノ關稅改正ニ關スル調査ヲナサンカ爲メ大正十年九月二十八日評議員會ノ決議ニ基キ委員ヲ選定シ日本鑛業會選定ノ委員ト合同シテ聯合調査委員會ヲ組織シ該委員會ニ於テ審議ノ上「關稅率改正ニ關スル意見書」ヲ立案シ其筋ヘ建議セリ

八、講演會

- 一、大正十年三月二十六日總會ニ際シ左ノ講演アリタリ
製鐵用燃料節約法ニ就テ 工學士 河村 曉君
軍艦ト鋼材 工學博士 平賀 讓君
- 一、大正十年十二月一日日本會事務所ニ於テ左ノ講演アリタリ

九、登記事項

大正十年四月十一日第六回通常總會ニ於ケル理事改選ノ結果ニヨリ理事香村小録君、野呂景義君、今泉嘉一郎君倭國一君、鹽田泰介君就任ノ件ヲ登記セリ

十、工學會ニ入會ノ件

工學會組織變更ニ付本會之ニ加入ノ件ニ關シテ大正十一年一月十九日評議員會ヲ開キ審議ノ上之ヲ可トシ其手續ヲ了シタルモ大正十一年三月ノ總會ニ於テ事後承認ヲ求ムルコトトス

右及報告候也

大正十一年三月二十五日

日本鐵鋼協會々長 香村 小録

大正十年度收支決算報告

收入之部

正會員會費	七、五四七、七五
准會員會費	三、九五三、七七
入會金	一一〇、〇〇
廣告料	一、八〇八、九一
贊助會員寄附	一、一〇〇、〇〇
利子	一、二九九、一九
雜收入	二六九、四六
小計	一六、〇八九、〇八
前年度繰越金	二一、四八九、三九
合計	三七、五七八、四七
支出之部	
會誌費	七、七三一、六八
會合費	二七一、一〇
事務費	一、七七一、八五
報酬及手当	三、四〇八、〇〇
地代	二六四、六〇
諸税金	一三、六九
什器	三〇、五〇
圖書費	六四、九〇
修繕費	四八七、〇〇
火災保險料	二六四、四五

合計

差引殘高(次年度繰越)

此内譯

銀行預金	二一、七六四、五二
振替貯金	五六七、〇三
會誌發行擔保	九〇七、〇〇
振替貯金基本	一〇、〇〇
約束郵便擔保	二〇、〇〇
現金	二、一五
合計	二三、二七〇、七〇
外ニ會費未收入	二、三五三、五九

財産目録

家屋及土藏	一、三三二、〇〇〇、〇〇
什器	一、二、五三〇、〇〇
圖書	一、一、八八三、五三
建物維持資金	一、三、二四四、一五
銀行預金	一、二一、七六四、五二
振替貯金	一、五六七、〇三
會誌發行擔保	一、九〇七、〇〇
振替貯金基本	一、一〇、〇〇
約束郵便擔保	一、二〇、〇〇
現金	一、二、一五
合計	六二、九二八、三八

大正十一年度豫算

正會員會費	七、二〇〇、〇〇
收入之部	四八七、〇〇

准會員會費	三、四五六、〇〇
入會金	七五、〇〇
廣告料	一、三六八、〇〇
會費補助寄附	九〇〇、〇〇
利子	一、二〇〇、〇〇
雜收入	二五〇、〇〇
贊助會員寄附	一〇〇、〇〇
合計	一四、五四九、〇〇

支出之部

印刷費	七、〇〇〇、〇〇
原稿料	二〇〇、〇〇
約束郵便料	二〇〇、〇〇
事務費	一、七〇〇、〇〇
火災保險料	二六四、四五
報酬及手當	三、五五五、〇〇
地代	二六四、六〇
會合費	三〇〇、〇〇
諸税金	二〇、〇〇
什器	三〇、〇〇
圖書費	一〇〇、〇〇
修繕費	二〇〇、〇〇
豫備費	七一四、九五
合計	一四、五四九、〇〇

右ノ通り大正十一年三月八日評議員會ニ於テ決議ス

右及報告候也

大正十一年三月二十五日

日本鐵鋼協會々長 香村 小錄

一、會長及び評議員の選舉は投票人員九十六名にして左の通り選舉せられたり、氏名左の如し。

會長 俵 國一君

評議員

- 原田 鎮治君 大塚 榮吉君 渡邊芳太郎君
- 門野重九郎君 加茂 正雄君 川合 得二君
- 吉川 雄輔君 横堀治三郎君 高洲 清二君
- 葛 藏治君 黑板 傳作君 松田萬太郎君
- 牧田 環君 齋藤 大吉君 水谷 叔彦君
- 日向庄作君(以上) 渡邊三郎君(以下) 河村 曉君
- 内田 徳郎君 工藤 治人君

一、會員として工學會に入學の件並に本會代表者として野呂景義君を選任するの件に關しては總て評議員會の決議通り報告して満場の承認を得たり。

右にて總會を終り左の講演ありたり。

鐵力製造と能率増進

日東鋼株式會社々長 大塚 榮吉君

華盛頓會議に於ける海軍問題の經緯

海軍造船少佐 田路 坦君

暫時休憩の上(十時午後六時半)新橋驛樓上東洋軒に於て懇親會を催す出席者は左の諸氏(三十名)なり。

- 香村 小錄 鹽田 泰介 河村 曉
- 田路 坦 種子田右八郎 寺野 精一
- 大塚 榮吉 加茂 正雄 水谷 叔彦
- 吉川 雄輔 島岡 亮太郎 島 安次郎

日向 庄作 堀 悌三郎 高洲 清二
 服部 漸 村上喜代次 渡邊 三郎
 陸路 録 吉田 永助 齋藤 正平
 寒川 恒貞 域谷 陸造 野長瀬忠男
 濱田 彪 行方 畝三郎 大矢 喜兵
 池 永雅之助 伏見 政治 堀田 正由

宴會の半に於て香村會長の挨拶、種子田君の會長への謝辭あり、續て例に依て種子田君、香村君、服部君、寺野君、加茂君、渡邊君、陸路君、島岡君、島君、伏見君等の卓上五分演説ありて一同歡を盡し午後八時半散會せり。(演説速記は次號に掲載す)

○開會の辭

會 長 香村 小録君

是から第七回通常總會を開きまして諸般の報告を致します又定款に依りまして役員の改選を行ふことに致します。總會に於きまして會長より前年中に於ける鐵鋼に關する概況を申上げることが前例の様になつて居りますが大正十年は御承知の通り一般産業が萎靡不振を極めました就中鐵鋼に關する商工業の沈衰は實に何んとも云へぬ程の慘憺たる狀況でありましたのでお話をする勇氣も無いのであります。殊に今日は後で有益なる講演がありますから成可く其方へ時間を譲りまして私は極簡単に一言申述べます。

大正十年の不況は各方面に顯はれて居りますが代表的に生産方面を見まするに、

米	銑	鐵	鋼
約二〇、〇〇〇、〇〇〇	一六、五〇六、〇〇〇	三六、四〇〇、〇〇〇	四二、一三二、〇〇〇
對割合	大正十年の生産	大正九年の生産	對割合
四七、六	四五、三	四五、三	四五、三

日本鐵鋼協會記事

英國	銑	鐵	鋼
二、六一一、〇〇〇	八、〇〇七、〇〇〇	三二、六	三、六二四、〇〇〇
日本	銑	鐵	鋼
四八二、〇〇〇	五三〇、〇〇〇	九〇、九	五三〇、〇〇〇
五三〇、〇〇〇	五七三、〇〇〇	九二、五	五三〇、〇〇〇

斯ふ數字を列舉して見ますると英米共著しい生産減になつて居りますのに鐵の不況が同様に甚しい日本の生産額が餘り減つて居らぬのは甚だ不思議の様でありますが是は官業の八幡製鐵所といふものがあつて不況に頓着することが少く、損が立つても作業を續けること、軍備上の鐵鋼を契約に依つて造つたことが原因だと思ひます。日本の生産額を民間だけ舉げて見ますると、

日本民間	銑	鐵	鋼
一三六、〇〇〇	二八七、〇〇〇	四七、四	二二〇、〇〇〇
二九三、〇〇〇	七五、〇		

此の事實に依つて見ましても我國民は官業の製鐵所を通ふして我國製鐵業を少なからず保護して居ることが分ります、同じ保護をするなれば適當なる方策を立て、製鐵業全體を有効に保護することが至當だと考へます此の點に就ては私は大に主張を持つて居りますが議論になつて長くなりますから茲に申上げません。

大正十年一ヶ年を通觀すれば箇様な狀況であります但其内でも七月、八月の頃は英米とも最も衰微の極度に在つた様でありまして米國では七月、八月の銑鐵日産額は僅に三萬噸弱で從來の最大日産額に比すれば四分の一に過ぎません、英國の七月の如きは石炭同盟罷業の影響もありましたが僅々一ヶ月八百噸の生産しか無かつた程の憫れな状態でありましたが其後兩國とも漸次生産増加を致して參りましたことは最早極度を通り越して漸次回復の曙光を現はしつゝあることの證據だ

と思ひます、然るに日本では引續いて更に生産増加を示すと云ふことの無いのは嘆かほしい事でありませう。

相場も此の不況に押され押されて非常に低落致しまして他の物價との權衡を全く脱して居る様に思はれますが之等の事は省略致します。大正八年より問題になつて居りました鐵鋼の關稅引上は昨年の第四十四議會で一部可決されました對する關稅が平均壹割五分の從價稅になりました六月から實施されましたが銑鐵は協定稅率であると云ふ理由で何等變更がない、又變更を豫定することも無かつたのであります其の爲め銑鐵製造業は一層の苦境に在る様に思はれます。之は前表の生産減の割合に依つて見ても明瞭であります、此の銑鐵の協定稅率の有効期限は明年即ち大正十二年七月でありますから之が變更の必要があるものであれば今より研究して準備に取掛らねばならぬと思ひます。又日本の製鐵業の根本政策として製鐵事業の大合同をせねばならぬと云ふ説も長く論議されたことあります、今日軍備制限が實行せられる様になりましては尙更製鐵事業の様な有事の日に於ては國防の根底となり、平和の時に於ては諸般産業の基礎となる大切なものは大に獎勵して發展せしめねばならぬことは誰も異議の無い所で實に目下の急務であります。それには歐米殊に獨逸の如き又印度の如き甚だ廉價なる生産が出來ると申しますから我國當業者も非常なる奮勵努力を以て事に當らねばならぬことは勿論でありますが一面に於て國家として適切なる方策を立て、之を擁護することが大に必要であらうと思ひます。然るに第四十五議會も最早今日で閉會になりますが何等此の問題に觸れなかつたのは吾人の大に遺憾に思ふ所でありませう。

併し今日は華府條約も未だ各國の批准を経るに至つて居りませんから近く批准を了して愈々將來の國防及經濟政策を樹立することになりませうから來る四十六議會までには朝野に於て充分に考究して製鐵業に對して必ず適切なる對策が成立することを希望致します。

終に莅んで私は不肖自ら圖らず會長の職を汚しましたとが規定の二ヶ年に及びまして今回改選になります此の間諸君の深厚なる御同情と御援助に依りまして幸に大過なく至て平々凡々ながら任期を完了する事を得ましたのは洵に有難く存じ大に感謝する所であります、何卒諸君に於ては將來一層本會の爲めに御配慮御盡力あらんとを衷心切望致します。(拍手)

◎理事會

大正十一年三月二十二日(水曜日)午後五時より本會事務所に於て理事會を開く會議事項左の如し。

- 一、入退會者に關する件(承認)
- 一、總會準備に關する件
- 一、其他會務に關する件

當日出席者は香村小録君、野呂景義君、鹽田泰介君、河村驍君等なり。

◎編輯會

大正十一年三月二十二日午後五時より本會事務所にて編輯會を開き會誌第八年第四號の原稿を選定せり、當日出席者は井上克己君、室井嘉治馬君、川上義弘君、杉村伊兵衛君等なり。

◎入退會者

前記理事會に於て入退會を承認せられたる會員左の如し。

入會者 (住所及職業)

八幡市製鐵所

准員 村田 悟

退會者 (住所及職業)

麴町區永樂町二ノ二高田商會員

工學士 正員 菅 平 八

島根縣仁多郡八川村鐵鋼業

同 糸原 武太郎

八幡市大藏羽衣町一丁目

工學士 准員 日高 政一

◎轉居

前號報告後轉居者の新住所左の如し。

東亞通商會社上海支店

支那上海英租界江西路八號

平川 良彦

八幡市製鐵所銑鐵部事務所

高倉 爲三

大阪市西區薩摩堀東之町四二東洋製鋼會社

大野 宗平

名古屋市南區熱田東町字外土居十

羽鳥 金三郎

札幌區北八條東四丁目鐵道官舎五九號

村田 榮太郎

下谷區竹町十二(下谷、七三三八)

山田 正榮

市外瀧ノ川町五一四

小澤 重明

小石川區原町一一二阿部方

布目 齋四郎

小倉市紺屋町二一四ノ一ノ七

向山 幹夫

市外南品川鎗ヶ崎七八八

金子 恭輔

福岡市渡邊町六丁目川端記念館裏(電、一五六一)

中村 精七郎

京橋區北橋町一八中村組

松川 義造

府下荏原郡大井町山中四三三七

出淵 豐保

府下豐多摩郡杉並村大字高圓寺四八三

降旗 音吉

市外高田町雜司ヶ谷四一七

村上 武輔

大阪府東區高麗橋二丁目島田商會

藤岡 淨吉

日本橋區駿河町三井物産會社

小川 清一

舊 改姓 金子卯一郎君は 中村と改姓せられたり。

本會正會員淺野幸作君は昨年十一月 高田信次郎君は本年三月逝去せらる誠ニ哀悼の至りなり。